

|      |          |
|------|----------|
| 評価領域 | 特色ある教育課程 |
|------|----------|

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 重点目標 | 「地域と共に育ち、地域に貢献する学校づくりの推進」 |
|------|---------------------------|

|     |   |
|-----|---|
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな地域資源を活用した本物の体験や交流及び共同学習をはじめとする地域学習を積極的に展開している。</li> <li>・地域での花いっぱい運動や清掃活動、リンゴレンジャーによる交通事故やいじめ防止を訴える公演等、地域貢献活動に取り組んでいる。</li> <li>・小規模校の強みを生かした全校縦割り活動（りんご栽培、全校体力づくり、ピカピカタイム等）に力を入れている。</li> <li>・毎年、東山学園生が約3割程度在籍している。発達障害を併せ有したり、家庭・養育環境に課題のあったりする児童生徒が増加しているため、関係機関との連携が必要である。</li> </ul> |
|-----|---|

|        |   |
|--------|---|
| 具体的な目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学校は小さな社会、地域は大きな教室」を合言葉に、地域の教育資源（自然・人・モノ・文化等）を活用した活動や全校縦割り活動を通して、本物の力の育成と社会的存在価値を高める。</li> <li>2 かづの校の教育活動の一端や児童生徒の活躍の様子を紹介し、地域の不特定多数の人たちにかづの校のよさを知ってもらう。</li> </ol> |
|--------|---|

|            |  |
|------------|--|
| 目標達成のための方策 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書からは得られない本物の体験やプロの技に触れるために、地域の優れた知識・技能を有する人材（アップルサポーター）を活用する。変化する状況下でも力が発揮できるよう、花やりんごのプレゼント、商店街の清掃活動等、地域の人と関わる機会を増やす。</li> <li>2 かづの校の情報発信の方法として、ホームページによる教育活動の紹介、町内会へのかづの校便りの配付、定期的な地域販売等、児童生徒も参加できる内容を取り入れる。</li> </ol> |
|------------|--|

|          |   |
|----------|---|
| 具体的な取組状況 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリンピックランナー浅利純子さんをはじめ、りんご栽培のプロ、鹿角紫根染の達人、読み聞かせの名人、クマの生態に詳しい鹿角市農林課職員等、地域の人材を積極的に活用した授業や学校行事を計画した。児童生徒の意見を取り入れ、収穫したりんごを交流校の他に、お世話になっている病院や介護施設にプレゼントをした。</li> <li>2 学校紹介リーフレットの他に、DVDを作成して鹿角・小坂地区の小・中学校に配付したり、ミニ学校展を開催したりした。高等部総合サービス班の生徒が、鹿角警察署の協力を得て、不審者対応や犯罪・事故予防のポスターを作成して公共機関に掲示する等、かづの校の魅力を伝えた。今年度から地元新聞社に加えて、鹿角市広報担当にも情報提供をした。</li> </ol> |
|----------|---|

P

D

|      |  |  |
|------|--|--|
| 達成状況 | <p>1 浅利純子さんは6回、読み聞かせグループ「くれよん」は3回など、年間を通して地域の人材を授業や行事で計画的に活用することができた。収穫したりんごをプレゼントした病院関係者から、コロナ禍で元気をもらったという感謝の手紙が届いた。</p> <p>2 活動が制約される中、12月に北都銀行（鹿角支店）でミニ学校展を開催したり、生徒が作成した防犯用ポスターを地域の公共施設20カ所に掲示したりして、かづの校の魅力を発信した。</p> |  |
|------|--|--|



|      |  |   |
|------|--|---|
| 自己評価 | <p>(評価) A</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連代替大会として、「かづの校カップ」を開催した。進行、審判等を生徒が担当したことで、全校が一つになれた。</li> <li>・職員アンケートでは、「コロナ禍でも特色ある教育活動が実施できた」項目の平均が4段階評価の「4：よい」であった。</li> <li>・教育相談等で来校した地域の人のアンケートには「自然豊かな環境で子ども一人一人が生き生きと輝いている」、「挨拶や態度、表情が好印象でした」等、今後の教育活動に期待する感想が多く寄せられた。</li> <li>・地域貢献活動が認められ、地域貢献賞、県青少年育成成功労賞、第24回ボランティア・スピリットアワードコミュニティ賞、元気なふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動表彰を受賞した。</li> <li>・地域の小・中学校の教育相談や高等部受検者が増えた。</li> </ul> | C |
|------|--|---|



|            |   |   |
|------------|---|---|
| 学校関係者評価と意見 | <p>(評価) A</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも代替大会の開催、医療従事者への作業製品のプレゼント等、今できることを工夫しながら取り組んでいることが素晴らしい。</li> <li>・卒業後の自立と社会参加に目指して、小学部→中学部→高等部と、発達段階に合わせた指導が行われている。</li> <li>・児童生徒の様子から、年々授業のレベルが上がっている。</li> <li>・花のプレゼントや清掃活動等、地域貢献活動を保護者もサポートしていきたい。</li> </ul> | C |
|------------|---|---|



|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での学びを地域で活用する機会を増やし、「本物の力」（変化する状況下で自分で考え、行動する力）を育む。</li> <li>・かづの校カップを「かづの校スポーツ大会」として継続する。</li> <li>・地域貢献活動は、児童生徒のやりたいと、地域のニーズを重ね合わせた内容を計画する。（相手がしてほしいことを相手にする）</li> <li>・「正しく怖がり、正しく予防する」を合言葉に、コロナ対策と特色ある教育活動の両立を図る。</li> </ul> | A |
|-----------------------|---|---|



